

1 組法隆寺事前学習感想文

(1班)

- なんか法隆寺のことをめっちゃ知ってはった。俺らよりもよっぽど知ってはった。だから、とても勉強になった。だめだしというか、アドバイスめっちゃしてもらった。しかも、英語の発音とか綺麗やったし、なかなか聞きやすかった。実りのある1時間だった。
- よかった。いい機会ができて良かったです。
- 自己紹介のときに、できるだけ長くしゃべった方がいいと教わった。質問されたときには、Yes.やNo.だけで答えるのではなくて、その後に少し長めにしゃべった方がいいと教わった。法隆寺ガイドブックに載っていない内容の文も質問されました。よく分からない英文も少しありました。分からないときは、まず数字を聞き取ることが大切だと言っていました。話を聞いていると、「なるほどなー」や「へえー」と思うことがたくさんありました。ガイドブックにある内容を詳しく教えていただいたりもしました。今日の授業で法隆寺のことについてよく分かった気がします。短い時間だけれども、充実した時間だったと思います。
- 法隆寺について知らないことを教えてもらいました。また、年号を覚えていたら大丈夫とも言われました。確かにそうだなと思いました。アイセスさんはとても優しい人で、聞き取れなかったら分かるまで何度も言ってくれました。楽しかったです。質問の答えが全く分からなくて、ちょっと恥ずかしかったです。だから、もっとリスニングを聞いて、そして、答え方を勉強して、スムーズに話せるようになりたいなと思いました。いい体験ができてとてもよかったです。

(2班)

- 法隆寺ガイドブックの訂正をしてくれたり、いろいろアドバイスをもらったので感謝していて、また、思った以上に難しかったけど、とても楽しかった。英語は言いたいことをそのまま言えば伝わるなど、すごい貴重な体験をした。
- 僕はこの頃まで、アイセスさんを個人だと思っていたほど、「アイセス」について知りませんでした。だから、どんな人が来るのかすごく不安でしたが、僕たちの班に来てくださった人は、とても優しくていい人でした。アイセスの人は、「英語を難しく考えずに、人とコミュニケーションを取るのだ」と教えてくださいました。そして、僕の Do you love me? という質問に、Yes, I love. と言ってくださいました。
- こういう体験は初めてだったが、すごく良い体験になって楽しかったです。英語は下手でも、コミュニケーションを取ることが大切だと言っていました。確かにそうだなあと共感しました。なぜアイセスに入ったのかを聞いたりして、おもしろかったです。大変な仕事らしいですが、やりがいがあれば良いと思います。楽しかったです。
- 年齢や好きな事などありきたりな事について聞いたりすると、そこからもっと応用して英語で答えて、また質問をしてくれるという形式で、とても勉強になりました。また、法隆寺のガイドについてちょっとした間違っている部分を教えてくださって、英語だけでなく法隆寺の歴史について、もっと詳しいことも学びました。そして、

英語を学ぶ上で、見方を変えるとどんどん分かりやすくなり、はかどると言うことも教えてもらいました。教えてもらったことで、英語とともに法隆寺にもより一層興味を持つことができました。身近にあるけど、実際詳しく知っているわけではなかった法隆寺をより詳しいことまで知れました。

(3班)

- ・ 私は今日、アイセスさんといろいろな話をしました。例えば、アイセスさんの出身地の話や中学時代の頃の話をしました。アイセスさんの出身地が九州だったことに驚きました。法隆寺の全体面積は野球場の約5倍の面積があると聞いて、普段こんなことを考えたことがなかったので、法隆寺のすごさを改めて感じました。アイセスさんの宝物である聖徳太子が描かれている旧一万円札を見せてもらい感動しました。今日の授業の前は、どんな人が来るのかと、ドキドキしていました。でも、授業が始まると、アイセスさんが楽しく、気楽な感じで話してくださったので、私も楽しく、とてもよい雰囲気です。授業することができたので、よかったです。たくさんのお話を学べ、ためになる貴重な体験ができました。
- ・ 私は英語で話すのは苦手だったけど、アイセスさんとの話はとても楽しかったです。アイセスさんの英語はとても上手くてすごいと思いました。
- ・ アイセスさんとまず自己紹介をして、アイセスさんへの質問とガイドブックを読むのを交互になるように話しました。アイセスさんはどんな食べ物が好きか、外国へ行ったことがあるかなどいろいろな質問に丁寧に答えてくれました。アイセスさんが逆に質問してくださったとき、分からないところは日本語で説明してくれた時もあったので、分かりやすかったです。だけど、答えることが頭の中で浮かんでいても、単語が分からなかったりしたので、少し難しかったです。アイセスさんの宝物だという昔の聖徳太子が描かれた一万円札を見せてもらったり、寺などの説明をしてくださったので、とてもよかったです。アイセスさんと会話しているとき、アイセスさんが1つの話でいろいろなことに結びつけて会話してくださったのが、すごいと思いました。最初は緊張して少し戸惑ってしまいましたが、だんだん会話することが楽しくなってきました。とてもいい経験ができ、気づいたら授業が終わっていました。

(4班)

- ・ 救世観音は「きゅうせいのかんのん」とも読めるが、「くせかん」の呼びの方が主流っぽい。あと、アイセスさんが俺のこと“ヤンクミ”に似てるって云ってたけど、似てないよ？
- ・ 僕たちが順番に読んでいくと、1つ1つその像や寺の歴史や出来事を教えてくださいました。英語の読み方が間違っていれば、丁寧に教えてくださいました。時には冗談や面白いことを言いながら教えていただき、ものすごく感謝や驚きがあり、よかったです。貴重な体験でとてもよかったです。
- ・ アイセスさんとは自己紹介や好きな科目、法隆寺の仏像は木でできているなどといった会話をしました。英語で会話するのは難しかった。けど少し慣れてきて、楽しかった。
- ・ 自分が思っているよりも、アイセスの人たちがみんな上手にしゃべっているなあと

思いました。最初はなかなかしゃべれなかったけど、時間が経つにつれて少しずつ慣れていきました。自分のところに来てくれたアイセスさんは、丁寧に自分たちに教えてくれました。薬師如来は癒しの像や Mural Paintings は 1940 年に一度焼け落ちたなどの内容を学びました。自分は、「どのくらいこの仕事をしていますか。」と質問してみると、4年と言っていました。今日の授業はとても貴重な体験をしました。アイセスさんは、夢を持つことが大切ということなども教えてくれました。最初はあんまり気が乗らなかったけど、終わってみるととても楽しかったです。終わったときは、あっという間に過ぎてしまいました。これを大切に、これからの学習に少しでも繋げたいです。

- ・ 英語で会話をすることは難しい。でも、今回の体験で、英語で会話するきっかけをつかめてよかったと思う。

(5班)

- ・ 今日、英語の授業でアイセスさんと会話しました。とても楽しかったけど、難しかったです。とくに英語が苦手なので、緊張しました。アイセスさんは優しく分からないところは解説を入れてくれたので、分かりやすかったです。文法がすぐ頭に浮かばなくて、単語しか発せなかった。けど、通じたのでよかったと思いました。英語をもっと勉強したいと思った。
- ・ 今日、アイセスさんと話せてとても楽しかったです。最初は英語でちゃんと話せるかなって思っていたけど、自分で思っていたよりも会話がつながって、良かったと思いました。アイセスさんは本当に法隆寺のことをよく知っていて、法隆寺の写真入りの本まで見せてくれました。「tri」は「3の」という意味だと学びました。アイセスさんはピアノやエレクトーンもやっているそうです。また、ピアノではジャズを弾くそうですごいなあと思いました。アイセスさんがこの仕事について理由は、英語が好き、英語で話すのが好きという理由の他に、外国で出会った素晴らしいガイドさんになりたいという理由からでした。このような気持ちをもったアイセスさんに会えることができ、とても嬉しかったです。
- ・ 始めはちゃんと話せるかすごく不安で、緊張したけど、アイセスさんが優しく、分かりやすい文で話してくださったので、スムーズに事が進んだし、いつも以上に英語が話せて、とても嬉しくなった。私も大きくなったら、アイセスさんのように、外国の人の役に立てるように頑張りたいと思います。

(6班)

- ・ 私たち6班には Ka さんが来てくれました。Ka さんは、すごく多くの国に仕事や旅行で行っていました。スペインへ行った時の話では、Ka さんはスペイン語は話せないそうなのですが、英語で話せばどの国でもだいたい話すことができると教えてくれました。外国人をガイドする時や今回の授業の時でも、英語の会話は半分くらい意味が分かればいいと教えてくれました。私もそうだと思います。英語での会話の時、すべての文は分からなくても、単語が何個か分かれば、相手が伝えたいことが分かるからです。私たちが法隆寺の案内を話している時などは、1つ1つが終わる毎に感想や意見を言ってくれました。また、今までの先輩たちよりも私たちがの方が上手いと言ってくれました。Ka さんは、私達が聞き取りやすいように

ゆっくり話してくれたので、私達も一生懸命聞きました。「法隆寺の南大門の前には外国人がたくさんいるから話してみてね。」と言っていました。外国人と話すときに大切なのは、失敗を恐れずに英語を話すことだそうです。私は今回の授業を活かして、これからも英語を積極的に使いたいです。

- ・ 私は今まで英語はすべて理解しないと意味が分からないと思っていましたが、アイセスさんは、「英語の意味がだいたい分かったら良い」と言ってくれました。外国人と話す時は、間違っているでもいいから、反応することが大切だと言うことを学びました。何も反応しないより、間違っているでもいいから反応することの方が、恥ずかしくないし、ずっと良いと言っていました。今日、この学習をして学ばせてもらったことがたくさんありました。あと、アイセスさんがどれだけ必要な存在かということが分かりました。
- ・ 外人さんの接し方みたいなことを教えてもらえた。すごく勉強になりました。アイセスさんとの学習はとても楽しかったし、学習できて良かったと思います。多分、ちょっとでも将来のためになったと思います。こんな体験ができて本当に良かったです。

(7班)

- ・ 今日のアイセスさんとの学習を振り返って、英語で話すのは難しかったけど、すごく楽しく、新鮮に感じた。英語で質問された時、あせった。アイセスさんの英語が上手すぎて、聞き取れなかったり、意味を理解することができなくて、大変だった。聞こうと耳を傾けても、聞き取れないことがあった。自分の英語力の無さと聞こうと一生懸命耳を傾ける大切さを学んだ。身近にある法隆寺の事を知ることでもできた。今まで法隆寺に行くことも少なく、あまり中にあるものを見たことがなかったけど、アイセスさんが中の風景をコピーしたものを見せてくれて、「そうなるんだ」と思うこともたくさんあった。とてもいい勉強になった。
- ・ 私達が読んだ場所の説明をしてくれた。自分達が知らないことがたくさんあったので、もっと法隆寺のことが知りたくなった。そして、実際の法隆寺を見てみたくなった。英語で話すとは分からない文がいっぱいあったから、訳せるようになりたいと思った。質問で「パゴちゃんを知っていますか？」と聞いたら、アイセスさんは知らないそうです。竹内さんが絵を描いてみても分からなかったもので、どうしても知ってもらいたいと思い、捜していると、ガイドブックの裏に書いてありました。それで話が盛り上がりました。アイセスさんが言っていることを訳するのは難しく、時間がかかったけど、分かったときはとても楽しかったです。
- ・ 私の班には、Koさんという方が来てくださいました。Koさんは法隆寺や像などの写真をたくさん持ってきてくれました。これが金堂ですなどと、とても分かりやすく説明してくれました。中でも私が一番納得したのは、金剛力士像の2つの像のことについてです。金剛力士像の阿形は、ひらがなの「あ」の文字から始まります。吽形は「ん」から始まります。(あんぎょう→「あ」んぎょう→「あ」)これは、ひらがな50音の最初と最後の文字にあたります。これが意味することは、法隆寺を最初から最後まで守るという意味だそうです。すごく感動しました。また、金剛力士像が怒った顔をしているのは、法隆寺を守るという心の現れなのだそうです。笑っていたり、困っていたりするようでは、とても法隆寺を守れないでしょうと Ko

さんはおっしゃっていました。このことにも、新しいことを教えていただいて、嬉しく思いました。Koさんはすごく面白くて、気さくな方で、始めは緊張していましたが、すぐにうち解けて、楽しく分かりやすくいろんな事を教えてくださって、私もすごく楽しかったし、勉強になりました。英語もすごく上手で、すごいなと思いました。また、パゴちゃんを知っていますかと質問すると、知らないとおっしゃったので、私がパゴちゃんの絵を描いてみせると、やっぱり分からないと言われましたが、ガイドブックの後ろに印刷してあるパゴちゃんを見せると、「ああ、あれか」と分かってくださったという、面白い話もありました。いつもと違う授業で、とても新鮮な感じで、とても楽しく勉強できました。

- ・アイセスさんと学習してみて、私はとてもためになったと思います。始めはちゃんとアイセスさんと会話できるかめっちゃ不安やったけど、意外にちゃんと会話できて、嬉しかったです。アイセスさんに質問されたときは、答えられるかドキドキしたけど、アイセスさんと学習してみると、難しかったけど楽しかったです。

(8班)

- ・全て英語で話していたので、難しかったです。でも、法隆寺のことが分かったので、良かったです。聞き取れなかったところもあったけど、何回も言ってくれたので、分かりやすかったです。「あぎょう」は50音の最初の音で、「うんぎょう」は最後の音ということが分かりました。Taさんは、法隆寺の案内の仕事をされているので、法隆寺のことをたくさん教えてくれました。法隆寺のすぐそばに住んでいるのに、法隆寺のことを全然知らなくて自分も驚いたけど、Taさんの方がびっくりされていました。「今度法隆寺に行ったときに見ておいで」と言われたので、もっと気をつけて見ようと思いました。
- ・意味が分からなくて難しかった。勉強になったけど、少ししか分からなかった。楽しくなかった。英語で言われても、何を言っているのかが全然分からなかった。もっと法隆寺のことを知りたいです。
- ・アイセスさんの英語は、超発音が良くてすごく上手でした。それに、私がまだまだ知らない英単語もたくさん使っていたので、理解するのにとても苦労をしました。けれど、とても楽しく勉強できたと思います。英語では、「この像は木でできてる」とか、「この像の名前の由来は…」など、全く知らなかった為になる知識を教えてもらいました。学べたことは、発音や歴史の話などで、参考にしようと思いました。
- ・Taさんがグループに来てくださり、とりあえず英語でできるだけ会話してみた。興味もわいた。Taさんは非常に気さくな方で、私たちに理解しやすいように話してくださり、とても助かった。Taさんとお話ししてみても思ったのは、英語を聞き取り、理解することは出来ても、こちらが話したいことをうまく説明できないということ、自分の英語力の弱いところも分かり、法隆寺に興味を持って、とてもよい体験だった。

2組法隆寺事前学習感想文

(1班)

- 今日はアイセスの人と英語で話し、たくさんの事を知りました。始めにアイセスさんに名前を英語で言った後は、なぜかほっとしました。その後は、みんなでいろいろなことを聞く練習をしました。アイセスさんは、「こういった方がいい」といつてくれたときは、とても優しく教えてくれたので、嬉しかったです。質問では、「あなたはどこの出身ですか?」「あなたの国はよいですか?」「日本の食べ物でどれが一番好きですか?」などの質問をしました。質問の答えは即答のように、「日本出身です。」「すしが一番好きです。」「とてもよい国です。」と答えてくれました。アイセスさんが話してくれているときは、とても発音が良くて、逆に聞き取りにくかったです。僕もこの発音を聞いて、これからも上手に発音ができるように、発音しながら英語の教科書を大きな声で読もうと決めました。外国人と思って、アイセスさんに法隆寺について説明をした時、アイセスさんが入口はどちらで、出口はどちらと質問されたとき、僕はどちらか分からないけれど、アイセスさんはどちらが入口で、どちらが出口かを教えてくれました。それから、「五重塔が一番古いのですが、一番高いのですか。」と質問されたときは、自分はあてずっぽで一番高いと思っていたら、一番高くなかったのも、とてもいい勉強になったような気がしました。その後、「中門はなぜ門なのに、通ることが出来ないのですか。」と聞かれたときは、なぜかと思っていて、アイセスさんに聞くと、アイセスさんは分からないとっていました。そんなことを質問する人は本当にいるのかなあと思いました。次の質問はとても印象に残っています。その質問は、阿形は口が開いていて、吽形はなぜ開いていないのかと聞かれたことです。アイセスさんに聞くと、なんとこれにはひらがなが関係していると教えてくれました。阿形はひらがなの最初の文字の「あ」とひらがなの最後の文字の「ん」がついていることから、口を開いて作られたと教えてくれました。法隆寺の歴史は、今も変わっているとアイセスさんが言っていたので、これからの未来がとても楽しみです。それと、アイセスさんに学んだことで、法隆寺に関心が持てました。それと、このリハーサルのおかげで、僕は法隆寺案内学習に少し自信がつかしました。このように法隆寺について学べることは、ほっけだと思えます。ありがとうございました。
- 今まで一日の中で少なかった英語で話す時間が、今日の体験を通して、英語で話す時間がとても多くなったように感じました。アイセスさんとはいろいろなお話を英語で話しました。法隆寺はとても財宝やなぞが多く、それらを学ぶことはとても楽しいと言うことや、外国へ行く時には、まずどこへ行っても出口を捜すことが重要で、出口は入り口に較べて小さいので、見つけるのがとてもたいへんであることなど、英語でそのような事を話してくれました。僕は英語を聞いて訳をするのがとても好きだが、日本語を英語にするのが難しくあまり好きではありません。だけど、英語を日本語に訳せた時の嬉しさはとても快いものです。
- アイセスさんと英語でしゃべるのは難しかったけど…、法隆寺のいろいろなことを知ったので楽しかったです。また、アイセスさんがすごく面白い方なので、笑ってばかりでした。アイセスさんのおかげで、もっと法隆寺のことを知りたくなりました。またアイセスさんに来て欲しいと思いました。本当によい体験が出来ました。

- 外国に行くと、入口は分かるが、出口の単語を覚えていないと困る。実質英語の単語を100個覚えるより、全ての数字を覚えた方がいいらしい。金剛力士像の口が閉まっているのと開いているのがある理由は、あ〜んの中に全ての仏教の教えが詰まっているからだそうです。だから、右側は「あ」の口で開いていて、左側は「ん」だから閉じているそうです。「日本のどのような文化に興味がありますか」と質問すると、「仏教に興味がある。」と答えてくれました。外国人はすぐに何でも聞きたがるそうで、「このお寺が日本で最も古いお寺です。」と言うと、外国の人は、「2番目に古いのは何ですか。」と聞いてくるそうです。アイセスさんはお寿司が好きです。法隆寺と東大寺は外国から来る人がたくさんいるけど、東大寺は観光目的で、法隆寺は趣味で来る人がたくさんいるそうです。アイセスさんにはこんなたくさんのお寺のことを教えてもらい、とても楽しかったです。今日のことを聞いていると、全ての事や像にはちゃんとした意味があって作られていて、門でさえも意味があるとは驚きでした。このことでもっと法隆寺に興味を持てたらいいと思います。

(2班)

- アイセスさんが一番伝えてくれたことは、まず言葉に発してコミュニケーションをすること。知っている言葉で、文法を守らなくても何とか伝わりたことだった。実際東南アジアとかでは、I go yesterday. とか、文法を守らない人が多いらしい。アイセスさんは僕たちと同じ中学生の時、英語はとても苦手だった。しかし、就職先が貿易会社にひよんなことから入ってしまい、英語をマスターしなければならなかったらしい。マレーシアに家族と住んでいたこともあり、子どもはマレーシアの大学を卒業したらしい。豆腐が好きで、夏にはビールと豆腐、冬には酒と刺身がいらしい。僕たちが一番注意されたことは、文を変なところで切らないということだった。ちゃんとしたところでないと、相手にとても聞き辛いものになってしまうそうだ。テキストの間違い、直した方がいいものを教えてくれた。例えば、“Kan’i Junikai” “Junanajo no Kempo”は省いた方がいいらしい。その後の“the Classified System with Twelve Rank” “the Constitution with Seventeen Articles”で伝わりたことだった。他にも、Cetral Gate での It is the entrance of Horyuji Temple.ではなく、entrance of Horyuji Temple を South Great Gate でいらしい。何が嫌いと聞かれて、「トマト」と答えて、「why」と聞かれたときはすごくあせった。「虫が中にいたから」と言おうとしたけど、虫をインセクトと言ってしまった。ワームのほうが良かったと後悔した。アイセスさんはすごく楽しんで英語を使っていた。僕もあんな風に楽しく英語を話せるようになりたい。
- Yaさんは中学生の時はずっと英語が苦手だったそうです。でも、大人になって貿易会社で働くようになってから、英語の勉強をやり始めたそうです。Yaさんに、「最高の思い出は何ですか」と聞くと、Yaさんは、「マレーシアで家族と5年間暮らしたことかな」と言ったので、僕は、「外国に行けていいな」と思いました。次に、「外国の人と英語を話すことが楽しいですか」と聞くと、Yaさんは「楽しいです。外国の人と話していて、だんだんとお互いの気持ちがわかってくるからです」と言ったので、僕はコミュニケーションを取るのが上手なんだろうなと思いました。法隆寺ガイドブックを読んでいるときに、いくつかの注意がありました。その一つが文の切り方です。僕たち全員が「文の切り方が悪い」と言われました。「何でそ

んなことなのか」と思ったら、文の切り方で外国の人に伝わらないことがあるそうです。文はスムーズに通るように切るといいそうです。例えば、**It was built in 693.**の時は、**It was /built /in 693.** といった方がいいそうです。そこで、年や日、場所等をいうときには、切ってはいけないそうです。もう一つは文法です。例えば、ある国では、「昨日行った」というのを、**I go yesterday.**というように、文法上は**I went yesterday.** にしなければならないのに、間違っているのに、普通に使うそうです。いろんな事を Ya さんに教えてもらったし、英語の面白さや楽しさを感じさせてもらいました。1・2年の頃は英語がすごく苦手でいやになるぐらいだったけれど、3年になって分かってくると、楽しくなってきました。今日の授業のおかげで、もっと英語が楽しくなりました。

- ・ 今回アイセスさんと授業を受けた。自分の知らないことをたくさん教えてもらいました。ありがとうございます。今度会ったときは、英語で話せるようにしておきたいです。アイセスさん、忙しい中貴重な時間をいただき、ありがとうございました。
- ・ 最初にアイセスさんたちを見たときは、びっくりしました。なぜかというと、僕が想像していたアイセスさん達は、若い人達だと思っていたからです。そして、アイセスさんが自己紹介をするときは、「こんなおっちゃん達が大丈夫かな？」と思っていたけど、英語ですらすらと話していて、発音もめっちゃ上手でした。そして、僕の班に来たおっちゃんは、一番怖そうな人でした。まずは僕たちの自己紹介から始まりました。僕は緊張したけど、とりあえず言えました。そして、法隆寺ガイドブックを読むときが来ました。僕はすらすら読むことができ、めっちゃやりきった感があったけど、アイセスさんに聞き取りにくいと言われました。なぜ聞き取りにくいと聞くと、僕は区切るところが悪いと言いました。そんなことは今まで気にしたことはなかったけど、そういう細かいところも教えてくれて嬉しかったです。2回目は区切りに気をつけて読みました。すると、前より断然いいと言われました。アイセスさんの昔の話を聞くと、単語はめっちゃ大切だと分かりました。いい経験さしてもらい、ありがとうございました。

(3班)

- ・ 今日、アイセスの皆さんと共に、法隆寺案内事前学習をしました。最初は緊張していたので、あまりアイセスさんとしゃべれませんでした。けど、途中からだんだん慣れてきて、アイセスさんとい会話ができ良かったです。そして、僕が分からないと言ったら、アイセスさんが優しく分からなかったら日本語でもいいよと親切にしてくださって、とても嬉しかったです。質問とかもぼっぼつとしゃべれてきて、とても良かったです。質問されたら、答えられてきて良かったです。嬉しかったです。そして、今日はとてもいい勉強になりました。今日はお互いに相手のことが分かったと思います。今日はいいい勉強になりました。ありがとうございます。アイセスさんの皆さん、今日は忙しい中遠いところから来てくださり、本当にありがとうございました。
- ・ 僕はいろんな質問を用意してこの学習に挑みましたが、今日は自分の会話力の弱さに気づかされました。質問の内容はうまく言えたのですが、その答えと一緒に相手の質問が返ってきたときは、どうやって英文を作ればいいのか困りました。また、

この学習で法隆寺に起きた五重塔の落雷での火災などの事件のことが分かりました。この事件の後、五重塔には避雷針が付けられたようです。他には、仏像などの写真を見て、仏像の種類を当てるようなクイズもしました。このクイズでは、仏像は全て同じ種類の仏像に見れてしまって、当てるのに苦労しました。また、法隆寺を後日見学する予定なので、国宝などを近くで見て説明などを聞き、法隆寺の知識を高めたいと思います。

- アイセスさんの学習で、アイセスさんは僕が読み間違ったり、質問できなかった時は、優しく接してくれたりしました。他には、旧一万円札を見せてくれたり、ガイドブック以外のことを教えてくれたりして、いろいろなことを学びました。普段ではできない学習ができて、難しいこともたくさんあったけど楽しかったです。
- 英語で法隆寺のガイドブックを読み終わると、本を出してもっと詳しく教えてくれました。質問していったら、法隆寺が本当に好きなんだなと思いました。あんな熱心に分かりやすく教えてくださって、いい勉強になりました。さすが外国人と話しているとあって、英語はすごく上手でしたし、分からない単語の意味も教えてくれ、自分から英文を訳せました。また、ガイドブックには載っていないことや法隆寺についてのクイズなど、とても法隆寺について学びました。とてもこの授業は良い経験になりました。本番もこのくらいできたらなと思います。

(4班)

- 僕の班のアイセスさんのIさんは、ヨーロッパのたくさんの外国に行ったことがあると言っていました。デンマーク(2年間)、イタリア、オーストリア、フランス、ベルギー、スペイン、イングランドなど。また、冊子には載っていない法隆寺のことについてたくさんを知っていました。その中で印象に残ったことは、金堂は檜で作られているということです。(天井は杉) また、Iさんはその檜の枝を持ってきてくれ、僕たちの班にプレゼントしてくれました。その檜の臭いはとても良い臭いがしました。また、聖徳太子のことについてもさらに詳しく学びました。井村さん、本当にありがとうございました。
- まず最初に4人の自己紹介をしてから、それぞれいくつか質問をしました。「食べ物は何が好きですか」とか、「どのような国に行ったことがあるんですか」などを英語で話をしました。アイセスさんが、野球とサッカーのどちらが好きかで、野球が好きだという話などほんとにいろいろしました。僕は外国に行ったことがないので、いろいろな国のことは知らなかったけれど、ドイツは英語でジャーマニーとか、デンマークは全員が英語で日常会話をしているとアイセスさんがおっしゃったので、驚きました。アイセスさんは、デンマークという国に2年間住まれました。僕も1回住んでみて、英語で外国人の方と話したいです。今日話をしたメインの法隆寺のガイドブックの説明の時にも学んだことがあります。それは、法隆寺が完成したのは710年で、薬師如来像が左手に大きな壺を持っていることや聖徳太子がなくなったのは、622年2月21日だということです。また、玉虫厨子の玉虫は緑色で、くすのきの木を利用していることが分かりました。フェノロサはスペイン系のアメリカ人で、昔東京大学の先生をしていたことがあったそうです。僕は全然そんなことを知りませんでした。今日このようなたくさんアイセスさん達が来てくださって、僕は英語がますます楽しくなった感じがします。僕たちの班

には、Iさんというアイセスさんが来てくださいました。とても英語を自由に使って、楽しく話すことができました。僕が今日体験したことは、絶対将来役立つと思います。そして、積極的に英語を話すと、相手の人も分かりやすいし、楽しんでくれると思います。だから、どんなことでも積極的にできるように頑張りたいです。この体験を通して良かったのは、グループの人全員がやる気になってアイセスさんの話を聞けたことだと思います。アイセスさんと話をしていると、1回外国で暮らしてみても、外国の人と会話をしてみたいなと思いました。

- ・ 楽しかったです。現地案内学習も一緒に行けたらいいなと思います。それに、法隆寺について僕たちよりも詳しくてびっくりしました。僕は5回文章を読んだのですが、たくさん指摘されていていい経験になりました。僕はこの体験を通して英語も好きになったし、法隆寺もこの町も好きになりました。今回はこのような体験をさせていただきありがとうございました。またお会いできたらうれしいです。現地案内学習一緒に行きましょう。
- ・ この学習を通して、法隆寺の歴史や秘密をいろいろ知ることが出来ました。僕の祖父は法隆寺で働いていました。それで僕も法隆寺について多少は知っていました。しかし、もっと多くのことを学ぶことができました。アイセスさんにはとても感謝しています。そして、尊敬をしています。ありがとうございました。

(5班)

- ・ アイセスさんとは法隆寺の話もしたが、自分についての話もたくさんした。アイセスさんのことは“せっちゃん”と呼ばせてもらった。アイセスさんが子どもだった頃は、学校の英語の先生は外国人ではなく日本人だったので、外国の人と話す機会は無かったらしい。私たちは外国人の先生がいて、話す機会がたくさんあるので、羨ましがられた。外国の人と話したり、実際にガイドをしている方と交流する機会が最近増えていて、良いことだと思った。玉虫厨子は玉虫の羽根が9000枚以上使われているらしいが、そのほとんどの羽根は古くなり、色が失われていてもおかしくないはずなのに、たった1枚きれいに残っていたなんて、ちょっと運命を感じた。外国人の観光客にこの玉虫厨子を紹介するときは、玉虫の写真を見せながら説明するらしい。私たちも見せてもらったけど、玉虫は羽根がきれいに光っていて、玉虫厨子の9000枚にもなる玉虫の羽根が、全部色が失われずにきれいな状態だったら、すごくきれいだっただろうなと思った。好きな食べ物の話もした。お好み焼きのことを外国人に説明するときは、「日本のピザ」だというらしい。お好み焼きがピザのようだとは思っても見なかったけど、なるほどと思った。日本独自の物を外国の人に説明するには工夫がいるんだと感じた。好きな教科などの話もした。“せっちゃん”は数学が苦手らしい。歴史が好きだとも聞いた。やっぱり法隆寺のガイドとかをやるには、その歴史を面白いと思う、好きな気持ちを持ってやるのが大切なんだと思った。実際に英語でたくさん話して難しかったけど、自分で色々考えて気持ちを伝えたりできて楽しかった。
- ・ 今回の授業では法隆寺のことはあまり話さなかったけれど、自己紹介の続きからアイセスさんのことや自分たちのことをすごく話し合えたりして、とても楽しかったし、とてもためになりました。でも、やっぱり英語でしゃべるのは難しく、時々どう表現していいのかわからなくて、時々日本語でしゃべったりしてしまいました。

なので、そういうこともふまえてもっと英語を勉強していこうと思いました。

- ・ 自己紹介とか自由に話したりする時間が多かったです。英語ばかりで話すのは難しかったけど、珍しく英語が楽しいと思えました。細かく理解をすることはできなかったところもあるけど、大体のことは分かりました。5班のアイセスさんは“せっちゃん”と言っていました。フラダンスを7年やっていたり、乗馬を5年やっていたり、多趣味の方でした。玉虫の写真を見せてもらったりして、実物を見れました。質問は一人1つしかできなかったけど、楽しかったです。お好み焼きがすごい好きみたいでした。

(6班)

- ・ 今日はアイセスさんと色々な話をしました。まず動物では犬と猫が好きで、ライオンを見るのが好きだそうです。そして、食べ物ではうどん、そば、日本風のカレーが好きだそうです。日本風のカレーとは辛くないカレーのことです。アイセスさんは、外国のカレーはととてもとても辛いと言っていました。そして、好きなスポーツは山登りだそうです。アイセスさんは名古屋出身で、40年も奈良に住んでいるそうです。奈良はたくさん観光地があり、長い歴史を持っているところがよいと言っていました。また、今は奥さんと2人暮らしで、息子は3人いるそうです。そして、「日本語と英語ではどちらが好きですか。」という質問では、「もちろん日本語です。」と言っていました。そして、アイセスさんは私たちに「外国へ行くならどこへ行きたいですか。」と聞きました。私は「ロシア」と言いました。アイセスさんは、タイ、ニュージーランド、フランスなどたくさん外国へ行ったことがあるそうです。そして、私たちに「外国へ行くことはとても良いことですよ。」と仰ってくれました。なので、私も大きくなったら外国へ行ってみたいと思いました。私は、英語で話すなんて難しくてむりやろ…とっていました。しかし、実際にアイセスさんに会って話してみると、とても優しくて明るい男の人で、楽しく話すことができました。私は知っている英語を一生懸命に話しました。少し間違ったりもしたけど、何とか相手に意味は伝えたので良かったです。そして、法隆寺のガイドブックを読んだら、「あなたたちの英語はよいですよ。」と褒めてくれました。嬉しかったです。そして、法隆寺のガイドをするときのことも教えてもらいました。まず、「日本へようこそ」と言うことが大事と言っていました。そうすると外国の方も嬉しそうにするからです。その他には、「どこからいらっしゃいましたか？」と聞くことです。そして、「アメリカです。」と外国人が答えたら、「おう！私もそこへ行ってみたいです。」と言うと、より良いと言っていました。私も「なるほど」と思いました。アイセスさんとたくさん話せて良かったです。
- ・ 英語は大体意味が分かればよいということが分かった。外国へは行った方がいいことが分かった。又このような体験をしたい。毎日あったらよいのに…。このような時間が。

(7班)

- ・ Koさんと言うんでした。Koさんは四天王像の話をしてくれました。四天王像は方位で分かれていて、それぞれの像の下についている小さい像たちが、けんかをしている像もあれば、笑っている像もあると教えてくださいました。他には、聖

徳太子の10人の話を同じに聞いたという有名な話を英語でしてくださいました。難しい文は日本語に訳してください、全部の話が大体分かりました。「どこの国に行きましたか。」という質問をしたら、たくさんの国の名前があって、すごいと思いました。私も海外に行きたいって思いました。質問をもっとしたかったけど、時間がなくて余り聞けませんでした。だけど、色々な話が聞けたから良かったです。Koさんは711年をコンビニのセブンイレブンで覚えたと言って、笑わせてくれました。もっと話したかったです。

- ・ アイセスさんは、私たちが法隆寺ガイドブックを読むたびに、とてもその内容を詳しく説明してくれました。金堂の中に四天王像があって、その左側の像が立っている石の顔が笑っているように見えると話していました。
- ・ 法隆寺の色々なことをお話ししてもらった。(英語で)とても良い体験になったと思う。もっと英語を知って色々話したいと思った。
- ・ 普通に英語の勉強をするのよりもずっと楽しくて、聞き入ってしまった。いつもの英語の授業は本文訳したりすることが多かったけれど、アイセスさんとは英語で喋っているという気がして、喋っている自分が嬉しかった。ところで、何を話したかということ、まあ法隆寺に関することなのだが、法隆寺には2つの入口があること(特別)、大仏が仲良く鬼としているところ(特別)、阿吽の呼吸が、息が合っているということ、アイセスさんの住んでいるところ(河合町SATYの隣)。聞いたことのない逸話ばかりで、英語で話していることを忘れてしまうぐらいだった。学んだことは、知っている単語が多いほど、何を言っているか理解できること。アイセスさんは私の知っている言葉や文法だけで会話していたが、私の知っている文法だけでも十分喋れること。アイセスさんは自分が考えていることが自然に口から英語で出てきていたのですすごいと思う。英語で話せると、今まで勉強していて良かったと感謝。外国の人と話すのもうまくできたら良いが……

(8班)

- ・ 今日アイセスさんと学習をして、最初は、英語だけで会話をするって言うので、ちょっと出来るか分からなくて不安もたくさんあったので、ちょっと心配でした。それに、グループの人数が2人だけだったので、少し緊張もしました。でも、私たちの班にTaさんが来てくださって、最初に挨拶をした内容を聞かれてちょっとビックリしたけど、でもそれで緊張がほぐれて良かったです。その後一人ずつ自己紹介をして、法隆寺ガイドブックの内容に入っていました。ガイドブックの内容で分からなかったことを質問などをしたら、写真などを見せてくれながらゆっくり英語で話をしてくださって、すごく内容も分かりやすく説明してくださったので、とても理解しやすかったです。なので、私が今まで知らなかった法隆寺のことなども知ることが出来ました。そして、時間があと少し10分ぐらいになったときに、Taさんがフリートーク、自由に話そうと言ってくれて、色々質問などをどんどん私達にして下さって、答え方に戸惑っていた時は、どんな風に答えたらいいか教えてくださったり、Taさんの話もしてくれました。それに、Taさんは英語で話すのに戸惑っている私達に、「英語で話すのはそんなに難しいことではない。」と言ってくれました。そして、Taさんは、「まずは分からなくても口に出して、声を出して話しかけてみるといいよ。」と言ってくれました。その時、私は英語で話すのは苦手な

ので、少し頑張ってみようかなという気持ちになりました。そして、私達は法隆寺の近くに住んでいるので、外国人の方々と話すチャンスが何回もあるので、英語で話しかけるのにとってもいいと Ta さんは言っていました。なので、私も話しかけるのは少し恥ずかしいところもあるけど、でも、そんなチャンスがあれば思い切ってやってみようかなと思いました。今日1時間アイセスさんたち、Taさんと英語で話したり、法隆寺のことについていろんなことを教えて下さったり、今後こんな経験をするのではないと思うので、とてもいい経験をすることができ、とても良かったと思っています。そして、今日の経験を通して、英語で話したり、外国の方々との交流など、できたらどんどん増やして、英語がもっとできるようにこれからも頑張っていきたいと思いました。

- なぜ4つの像なのか？それぞれ特別な方向を守っている。持国天→東・増長天→南・多聞天→北・広目天→西。玉虫厨子の厨子とは何か？個人的な拝むお寺・お宮さんのこと、玉虫厨子は推古天皇のために作られた。玉虫は英語でジュエルビートル（宝石）と呼ばれているそうだ。その理由は羽根が光るから。お釈迦様（仏教）の教えで、動物を殺してはいけないのに、個人の欲のために7000羽も殺した。金堂・中門・五重塔は飛鳥時代に建てられた。しかし、大講堂は平安時代に建てられた。なぜかというと、元々あったのだが、925年に燃えてしまい、990年にまた建てられた。私が全然知らなかったことを教えてもらうことができ、本当に良かった。日本人は口に出して話しかけるのが苦手なので、**SPEAK OUT**(声に出して話しかけること)が大切だと教えてもらった。Taさんは、「君達は法隆寺のある斑鳩に住めて、とても幸せなんだよ。だから、もっともっと法隆寺について勉強したりしようね。」と言ってくださいました。今回の勉強はとてもいい体験になりました。もっと法隆寺について調べようと思います。
- アイセスさんとは話せなかったけど、タイセンと話した時、いろんな質問をされて、全く知らないことを聞かれて、答えられなかった。だから、自分の町のことはもっと他の人に話せるようにならないと恥ずかしいなあと思った。もっともっと自分の町の行事などに参加して、地域の人々との触れ合いをしたいと思う。タイセンと喋った時に、英語を聞き取るのがあまりできなかった。途中でいやになって逃げ出しそうになったけど、そういうときも逃げ出さずに、何回も話してもらって聞き取ろうと思った。あと、英文を作るときにいつも迷ったりしてしまうから、文法をもう少し頑張らないといけないと思った。この体験を通して、自分はぐんと成長したと思う。なぜなら、逃げ出さずに何度も挑戦する気持ちを持つことができたからだ。この気持ちをもてたことは、すごく大きなことだと思う。また、法隆寺の現地案内学習に行くときは、この気持ちを持って、また、怖がらずに話すということも忘れずに頑張ろうと思う。積極的に自信を持って自分から喋りかけていこうと思う。
- 私は休んでいて、アイセスさんの話を聞けなかったのが、とても残念です。授業で今まで知らなかった法隆寺のことを勉強できて、とても楽しく嬉しかったです。私は英語がとても苦手で、法隆寺のことを英語で学ぶと聞いて、始めはすごく抵抗がありました。でも、何回も読んでいくうちに、これはこういう意味なんだとか、そうなんだ！という嬉しさや楽しさがこみ上げてきました。今まで英語の授業の時、「また英語だ！」と嫌だなあとか思っていました。法隆寺の勉強の時の英語は、楽しみでした。英語で法隆寺のことをたくさん学んだので、今度は日本語で、もっ

と法隆寺について学びたいと思っています。本当にありがとうございました。今度どこかで会えたら嬉しいです。

3組法隆寺事前学習感想文

(1班)

- ・ アイセスさんは僕の知らないことをよく知っていてすごいと思った。英語の発音とかもすごく上手だった。アイセスさんの質問は少し難しかった。アイセスさんは間違ってもすごく優しく丁寧に教えてくれた。
- ・ アイセスさん達はとても優しく教えてくれました。とても分かりやすかったです。僕たちは Kiさんに教えてもらいました。1つ1つの発音や読み方まで丁寧に教えてくれました。とても面白い質問をしていただいて、楽しかったです。僕が読むのに詰まったときも、攻めずにちゃんと答になるように導いてくれました。最初は少し緊張していましたが、だんだん慣れていきました。
- ・ 最初はアイセスさんに好きな食べ物は何か質問しました。すしとかそばとかの日本食が好きだそうです。次に、何語が話せますかと質問したら、日本語、英語、フランス語だそうです。8月にはフランス語の試験を受けて、2級を取ったそうです。言葉を勉強するのが好きと言っていました。スポーツは好きではないとも言っていました。法隆寺のことになると、法隆寺が建てられたのは607年に建てられたということには、今は607年だけど本当のことは分からないと言っていました。明日になったら、新聞には違うことが書かれていることもあると言っていた。次に、アイセスさんが十七条憲法の第1条の和とは何ですかと僕たちに聞いてきたけど、僕たちは答えられなかった。外国の人からこのような質問をされたときにはこういう風に答えるのだそうです。「ハーモニー アンド ピース」と。僕達はなるほどと思った。外国人はただ和と言われただけでは、意味が分からないからだそうです。それから、阿形、吽形のことについての時、阿形はなぜ口が開いていて、吽形は口が閉じているのかと聞かれた。もちろん知らなかった。アイセスさんはこのように説明してくれた。口が開いているのは「あ」、口が閉じているのは「ん」、つまり、「あ」から「ん」の間には全ての物があるんだそうです。だから、阿形と吽形の間には全ての物があるんだそうです。次に、金堂は世界で一番古い木造建築物ということはガイドブックにも書いてあるのですが、二番目は五重塔だそうです。僕たちは知らなかった。ここに書いた以外にもアイセスさんから色々な知らなかったことを学びました。外国人の方は、どんな質問をされるか分からないから、どんな質問にも答えられる知識が必要だなと思った。法隆寺の近くに住んでいる僕たちは、いつ外国の人に尋ねられても言いように、法隆寺を始め、地域のことをよく知っておくことは重要だと思う。

(2班)

- ・ 英語でいろいろな質問をした。アイセスさんにいろいろ教えてもらった。特に印象に残ったのは、英会話をするときのテクニックだった。質問されて答えの文章を頭で考えたらだめだと教えてもらった。頭で考えると遅くなる。頭に出てきた

単語を直感的に答えろと言うことだった。例えば、英語で「あなたは昨日どこに行きましたか」と質問されたら、もし公園に行っていたら「park」と答えればいいと学んだ。こんなに直感的に長いこと英語で話したのは初めてだと思うので、いい経験になった。でも、結構難しかった。いろいろなことを教えてもらったので良かった。

- コミュニケーションをすることは難しいが、楽に楽しくやるのが大事で、全てを完璧に言わなくても、相手に伝わるように自分なりに努力をすればどうにか伝わるということ。法隆寺のガイド案内ならば、自分が話す範囲を日本語から理解し、次に英文を丸暗記して、ただ作られた英文を読むのではなく、相手のことを考えて分かりやすいように内容を伝える。そして、内容の何を質問されても困らずにコミュニケーションすることが大切。英語というものは難しいものだと思うが、まず最初に頭の中で完璧に英文を組み立てるのではなく、もし、「Where did you go yesterday?」と質問された場合に、まず park と頭の中で思い浮かべる。そうしないと、頭の中でぐちゃぐちゃになってしまい、言い出すことができなくなるからです。アイセスの人は、別にきれいな英語を話す必要はないと言っていました。きれいな英語を話さなくても、外人には伝わるからである。だから、外人とコミュニケーションを取るときには、このようなことをふまえてやるのが大事だそうです。だから、この機会をきっかけとして、もし外人と話さなければならぬことがあれば、今日の体験の成果を生かして、勇気を出して話すことができれば良いなと思いました。
- アイセスさんと学習はできなかったけど、タイセンとの授業とかをやって、法隆寺はいろいろな人の思いや歴史が込められていて、法隆寺と一つにまとめられているけど、いろんな場所や物があることが分かりました。英語が苦手だから、法隆寺現地案内学習は行かないけど、今回の授業で、法隆寺の詳しい歴史について知れてよかったと思いました。
- 今日僕は Yaさんと一緒にコミュニケーションをしました。英語でいろいろな仏像の話をしたり、好きな食べ物についても話しました。Yaさんが質問をしたけど、何を言っているのかは分かるけれど、英語でどう答えたらいいのかが分かりませんでした。だから、「I don't know.」といたら、日本語でとても分かりやすく教えてくれました。Yaさんが自分で言っていたけど、「僕もあまりきちんとした文法通りに話すのは苦手です。でも、外国の人と話す時は、文法通りに話さなくても通じるから安心し」と言ってくれました。僕は薬師如来像の説明文が書かれている文を英語で読みました。発音が分からなかったので、Yaさんに聞きました。そしたら、ものすごくきれいな発音で話してくださったので、頭の中にすぐ入りました。話していて分かったことは、薬師如来像と釈迦三尊像は銅で造られていて、四天王像は木で造られていることが分かりました。僕は Yaさんが言った言葉に感動しました。そのことは、「英語でどんなことを喋るときでも、文法の決まりとかは関係なく、思い切って大きな声で話せばいいよ」と言ってくれたことです。来年僕は高校に入学して、高校二年生になったら家族でオーストラリアに行くことになっています。それまでには今まで習ったところの英語をある程度理解してオーストラリアに行きたいので、頑張って英語を勉強します。なんと言っても、オーストラリアでは日本語ではなく、全て英語なので、ぺらぺらに話せるように

頑張ります。最後に、Yaさんに質問をしました。「あなたは一番何のスポーツが好きですか。」と聞いてみると、相撲だと答えてくれました。僕は、相撲はテレビでは全く見ずに、ニュースでちょこっと見るだけなので、あまり知らないけれど、相撲がおもしろいねんやろうなと思いながら聞いていました。もう一つの質問は「あなたは夏と冬どちらの季節が好きですか。」と尋ねてみると、「夏が好きです。」と英語で答えてくれました。僕はちなみに冬が好きです。なぜかという、スキーができて楽しいからです。今日は貴重な体験をしました。アイセスさんが学校に来てくれて、一緒に交流することなんて滅多にないことなので、とても良かったと思います。そして、僕にとっても英語のいい勉強になりました。僕はまだ英語で話すのが苦手なので、だんだん話していくうちに得意になっていきたいです。

(3班)

- ・ タイセン先生との授業では丁寧に会話できたし、質問にも答えることが出来た。自分からも質問できて、英語でのコミュニケーションを取ることが出来て、とても良かったと思う。相手の言っていることを理解して正しく答えるのは難しいし、しっかり発音して相手に伝わりやすくすることは大事だと思った。法隆寺案内の本番は学んだことを生かして、しっかり案内して相手の人に迷惑をかけないようにしたい。
- ・ いきなり英語で質問された時にとっさに考えて英語で答えを言うのは難しかった。例えば、itとかtheなどの英単語を入れ忘れたり、つつい日本語が出てしまったりしていた。でも、アイセスさんがフォローしてくれたり、Yes, Noで答える質問を多くしてもらったりしたので助かった。法隆寺のことを説明したときにアイセスさんが上手だと言ってくれたので、嬉しかった。また、いろんな法隆寺に関する写真を用意して英語で説明してくれた。聖徳太子の1万円札も見せてもらった。他にも、アイセスさんがなぜアイセスのメンバーになったか、法隆寺のどんなところが好きか、南中をどう思っているかなど、たくさんの話を話した。今回の学習で自分の英語に対する苦手なところなどが分かったし、何より英語での会話がどんなものか分かったのが一番良い事だった。
- ・ 僕はアイセスさんと勉強ができて良かったです。なぜなら、僕は英語が苦手、アイセスさんの言っていることが半分しか分からなかったけど、分からないところを後で勉強して分かるようになったからです。それと、英語で学校以外の人と話す経験はなかなかできないので、この体験はとても楽しかったです。僕はこの体験を通してたくさんのことを知りました。例えば、法隆寺には2300個ものたくさんの宝があることや昔の1万円札には聖徳太子が描いてあることなどです。
- ・ 基本的に質問をして、それをアイセスの中野さんが詳しく答えてくれるというものでした。中にはユーモアを入れて答えてくれたりもして、とても楽しかったです。中には、法隆寺には約2300個もの宝があったり、ICESは日本語だと斑鳩文化交流の会など、という大変勉強になるようなことも教えてくれました。あと、五重塔は地震には強いが、雷や火にはとても弱いなどということも教えてくれました。アイセスさんはフルーツが好きで、王寺に住んでいて、南中が好きだと言っていました。また、こういう学習をして案内する中学生を手伝いたいとも言っていました。また、アイセスになった理由は、英語が好きで、話すのも好き、法隆寺

も好きだからだそうです。英語で言われたことをこんな風に聞き取れているなんて、自分でもびっくりしました。中野さんが聖徳太子の絵の一万円札を見せてくれたり、勉強にもなりました。今回の学習で、ちょっとは英語が話せる自分がいることが分かりました。また、英語で会話できてとても嬉しかったです。英語で話すことの楽しさも今回で学びました。あと、法隆寺についての豆知識も増えました。今回の学習は緊張したけど、とてもよいものになりました。

(4班)

- ・ アイセスさんと話をして、アイセスさんが法隆寺でどのようなことをしていて、アイセスさんがどのようなものか分かった。アイセスさんに今まで知らなかった法隆寺のことなどを英語で教えてもらった。アイセスさんは、英語は伝わればいいのだと話してくれました。英語はとても楽しく、深いものだと教えてくれました。
- ・ このような授業は初めてだと思うので、少し楽しみな気持ちがあった。アイセスさんというのが人の名前だと思っていると、実際はグループ名で、しかも、日本人の方々だと聞いて驚いた。Iさんという方が僕たちの班に来てくださった。優しくとても物知りな方だった。最初自己紹介をして、Iさんも自己紹介をして、少し雑談っぽいのをした。英語が上手だと始めに思った。68歳と聞いて、そうには見えないと思った。質問をして、また色々知った。中学時代に野球をしていたことや野菜が苦手だということを知った。法隆寺案内を英語ですると、素晴らしいと僕たちの英語を褒めてくださった。自信を持ってくださいと言われた時は、本当に自信を持てた気がした。法隆寺の案内を1つ言うと、Iさんがその場所について、詳しく教えてくださって、法隆寺のことをよく知っている方だなあと思った。この授業で、英語が話せるようになりたいという夢のようなものができたと思った。
- ・ アイセスさんに聞いた話は、アイセスさんは今、アイセス、法隆寺のことを教える仕事を4年やっていて、昔の学校では英会話がなくて、今とても大変だと言っていました。その中でこんなに英語が上手いと、自分も努力次第で良くも上手くなるんじゃないかと自信がわきました。アイセスさんは今68歳です。そして、法隆寺のいろんな知らなかった名スポットなどを教えてもらいました。法隆寺に登録されたときの賞状はここにあるんだよとか、この銅像はこの場所にあるんだよとか、今は red のライトがついていて銅像が見やすいとか、いろんな法隆寺の今まで見ていたものと違って、いろんな法隆寺の魅力やアイセスさんの仕事の深みを感じることが出来ました。
- ・ まず食べ物の好みやどんなスポーツが好きかなどを聞き、自己紹介をして、それで、法隆寺のガイドブックの話をして、最後は雑談をして終わりました。アイセスさんは1つガイドブックの中の話をする、例えば、夢違観音像がどこにあるかや金堂の壁画がどこにあるかなどをお話ししてくれて、法隆寺のことがさらによく分かったと思います。そして、アイセスグループについて最初はよく知らなかったのに、最後はよく分かるようになりました。またアイセスさんと話す機会があれば、また英語でお話ししたいです。

(5班)

- ・ 英語で話すのは難しかった。質問されてその質問の意味は分かったけど、答え方があまり分からなかった。アイセスさんに歴史は好きですかと聞いたら、大好きですと言っていた。英語も大好きだと言っていた。うちはあんまり好きじゃないと答えた。でも以前よりは英語が聞き取れるようになったと思う。前だったらちんぷんかんぷんで、全然分からなかったと思ってか分からなかった。楽しかった。
- ・ 私はアイセスとの学習をして、よく「if」を使っているなと思いました。私は「if」という単語はあまり使わないものだと思っていました。そういうことが知れて良かったです。うまくいかなかったことは、答えるのが遅くなったことです。「What ~?」とか「Do you ~?」と聞かれていたのに、上手く答えられなくて残念でした。これからは、質問したときの答え方を勉強しようと思います。いい体験ができて、とても良かったです。今度するときは、もっと英語で話せるようになりたいです。
- ・ ちゃんと伝わるか不安でびくびくしながら話していました。(結果2つ程ミスをしてしまいました。)ある程度は伝わったようですが、聞き取りにくかったかも知れません。もし、そんなことがあったようならすみません。自己紹介では好きな作家の話ができて楽しかったです。お話しさせていただいた方は「吉本ばなな」がお好きな人ですね。今度読んでみます。また、海外に3人もの友人がいらっしゃるようですが、どうやったらできるのかなと少し思いました。このような英語での会話(日本語も混ざっていたけれど)はあまりする機会がないものなので、良かったです。ただ、相手の方が日本語も分からない方なら、伝わらないのではないかと、とても不安になります。少しばかり質問に答えられても、はったりかも知れないと、不安です。自信がありません。
- ・ 最初アイセスさんって、外国人の名前だと思っていたけど、日本人だったからびっくりしました。せっちゃん(アイセスさん)は、英語もゆっくり、優しく話してくれたし、たくさん話しかけてくれて、すぐにうち解けられた。せっちゃんと、趣味について話したり、法隆寺のことについてもたくさん教えてくれた。玉虫厨子の話が特に面白かった。約4500匹の玉虫の羽根ででき、ほとんど黒くなってしまうけど、1枚の羽根だけまだきれいに光っているそうだ。それを聞いて、見てみたいなあと思った。アイセスさんの人たちは、みんなこの法隆寺が好きなんだなあ、一緒に話をしていて感じた。法隆寺の良さをみんなに知ってもらおうとして、こういうことをして行動を起こしているのは、すごく立派なことだと思った。身近にある法隆寺の良さをもっと知りたいです。

(6班)

- ・ アイセスさんとの学習は、とても楽しかったです。Kaさんも、とても優しくて良かったです。私はこの交流は、最初とっても嫌だったのですが、実際にやってみると、とっても楽しくて、とても良い経験をしたなと思いました。私は英語がとっても苦手なので、アイセスさんみたいに努力して、英語が分かる人になりたいです。
- ・ 法隆寺案内学習は、法隆寺があるからこそその貴重な体験ができたと思います。最初は長いし、面倒くさいとか、思ってたけど、もう終わってしまうと楽しかった。

たなと思えるようになりました。私は英語が好きだけど苦手なので、これを機に英語が上手になるようにがんばりたいと思います。アイセスさんには、親切でとても優しく教えていただいて、私もアイセスさん達のようなことをしてみたいと思いました。

- ・ 夏休みの宿題で法隆寺ガイドブックを覚えて（一時的だったけど）母さんに色の話とかを聞かされてて、面倒くさいし、うんざりしていたけど、アイセスさん達が来てくれて、英語ってすごいなって思った。法隆寺の歴史とかはあんまり興味がないけど、Kaさんと喋っていると、すごく引き込まれていく感じがした。とてもフレンドリーで、いろんな雑談も交えながら、会話をすることができた。終わる時に、「えっもう？」って思うくらい充実していた。まず、最初握手をした。「いつも外人さん相手にしてるから、フレンドリーなんだ」とちょっと縮こまりながら私も手を差し出した。ガイドブックを読んでいる時も、「いいね、いいね。」と言いながら、しっかり聞いて、アドバイスしてくれました。最後には、4年間の中で君たちが一番いい。」とまで言ってもらい、自信というか、英語に対するやる気が出てきました。10月16日の案内学習も行くつもりはなかったけど、「やっぱりやってみようかな」という気になりました。私がこの学習で学んだ事は、「とりあえずやってみる」ということ。やってみないと、それがどんなものなのかも分からないのに、やる前から面倒くさいなんて、言れへんと思った。これからどんどんいろんな事にチャレンジしたい。
- ・ アイセスさんは、「どのくらい英語を話していますか。」と尋ねると、「40年間」とおっしゃいました。法隆寺などは難しい英語とかも多いらしくて、今もまだ勉強してらっしゃるそうです。すごく努力してるみたいで、すごく感心しました。Kaさんは、1400年もの歴史があって、聖徳太子が作った法隆寺に興味があり、中でも、五重塔、金堂、中門は自信を持ってガイドできるそうです。Kaさんは、歴史と英語の両方を勉強して、自分の興味のあること、好きなことを生かせる仕事をしているところが、すごくすてきに感じました。英語で法隆寺のことを聞くのも新鮮で良かったです。Kaさんは、「何事も経験が大切」って教えて下さいました。苦手な英語も積極的に話して経験し、成長しようと思いました。普段の教科書を読んだり書いたりする英語ではなくて、「生きた英語」を耳にし、感じることで、とても良い経験になりました。

(7班)

- ・ 日本人なのに英語をぺらぺらと喋っていて、すごいと思いました。資料となる法隆寺の写真まで見せていただいて、すごく分かりやすかったです。身近なところなのに、全然私は法隆寺のことを知らないんだなあと思いました。
- ・ 最初はどんな方が来るのかなって思ってたけど、とても気さくな人でよかったです。私は、英語が好きか嫌いかと聞かれたら、嫌いな方だったので、今日のような時間は嫌だったけど、楽しく授業を教えてもらえたので良かったです。法隆寺のことについて色々教えてもらったので楽しかった。
- ・ 英語の説明を読むたびに、アイセスさんにその説明について質問をしていただきました。質問は難しい内容でも、簡易にさせていただいたので、とても分かりやすかったです。質問の中で、「あなたはどう思う？」とか、「あなたならどうする？」など

聞いてくださり、人の意見をまずしっかり聞いてから説明して、より法隆寺のすごさを伝えていらっしゃるのだと思いました。聞かれたことを頭の中で訳して自分の答えを並べるのは、難しかったです。答えの内容に頭がいっぱいで、時制を合わしたりするのをたまに忘れていたけれど、アイセスさんが細かいところまできちんと指導してくださったので、授業の終わりの頃には、アイセスさんの思っているとおりの答えが返せるようになりました。アイセスさんは、自分たちも知らない法隆寺の深い話までたくさん教えてくださったので、本当に為になった1時間でした。

(8班)

- ・ 私は授業を受けていませんが、今まで習った授業では、タイセン先生とティームティーチングができて、発音が正確に聞けた。法隆寺ガイドブックは、私も知らないお寺や仏像があったりして、社会面の部分も知ることができた。また、ガイドブックを通して、年代の読み方、単位の読み方など、改めて学ぶことができた。
- ・ 法隆寺のことについて、とても詳しく、ガイドブックに書かれていないようなことも教えていただいてよかった。英語を話すのが結構得意だったので、会話(英語)できると思っていたけど、アイセスさんに日本語に訳していただかないと分からないところが多々あったので、もっともっと勉強しなきゃいけないなと思った。同時に、もっと英語で話したいなと思った。アイセスさんは、中学校の時から英語に興味があって、今も英語を話す仕事をしてるなんてすごいなと思った。「好きこそ物の上手なれ」というのはこのことだ!と思った。
- ・ アイセスさんが丁寧に喋ってくれたので、分かりやすかった。法隆寺のことを色々教えてくれてよかった。